

坂崎紫瀾 （紫瀾）

新聞記者。嘉永六年十一月十八日江戸生れ。大正一

年二月十七日歿（一八五二—一九三）。本名斌、幼名謙次。別號南國野史、

鳴々、鳴々道人、海南紫瀾漁長、海南鏡水、海南鏡水漁人、烏々道人、

無位真人、紫瀾漁人、紫瀾漁長、鏡水漁人、鐵香女史、馬鹿林鈍翁、

魚服子、坂崎鳴々、坂崎鳴々道人、阪崎斌等。高知藩警致道館、阪谷

朗廬塾公學ぶ。明治八年松本裁判所判事となるも、辭して自由民権論

者活躍。百報社を興し、新聞『自由燈』主筆、『高知新聞』編輯長、

『土陽新聞』記者等を務めた。

著書『汗血千里駒』全二冊（坂崎鳴々道人名、雜質柳杏補綴、明治十

六年七月—二十六年攝陽堂）、『勝伯』『華蹟開城始末』（内題『華迹開城始末』

阪崎斌名、明治二十二年五月—二十二年大成館）、『陸奥宗光』（紫瀾漁

長名、明治三十一年六月—二十二年博文館）、『坂本龍馬』（明治二十

二年—二月—二十二年博文館「少年讀本」）、『蘇海醉侯』（本名、明治

二十五年—二月—二十五年高知堂）、『古今の婦人』（合著・福島四郎編、

大正元年九月十六日婦女新聞社）等。